

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2003-210583 (P2003-210583A)
【公開日】平成 15 年 7 月 29 日 (2003.7.29)
【出願番号】特願 2003-2575 (P2003-2575)
【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 6 月 28 日 (2006.6.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【 0 0 0 9 】

あるいは、一定の速度でブロワの電動機を駆動し、ブロワの吐出側から超過空気を放出または抽気することにより治療圧力を制御することができる。この種の関連技術の圧力制御の例が図 2 に示される。タービン 118 は供給管 132 によってプレナムチャンバー 130 に接続される。吐出口 138 で所望の吐出圧力を得るために、プレナムチャンバー 130 は、チャンバー壁の開口部 136 を割出的に開閉するようになされ、空気を大気へ開放するための制御可能な逃し弁 134 を備える。従って、治療圧力が調節される際、通気孔によって過度の騒音が発生し得る。さらに、プレナムチャンバー 130 の容量が大きいという一因により、治療圧力を正確に制御し、高い最大流量を維持するのは困難である。治療圧力の調整が不正確であると言う事は患者の不快感の原因となり得る。

なお、本出願に対応する外国の特許出願においては下記の文献が発見または提出されている。

【特許文献 1】米国特許第 7 0 3 6 5 0 6 号明細書